

津久井やまゆり園での事件について（声明文）

平成 28 年 7 月 26 日未明、神奈川県「津久井やまゆり園」において、施設を利用されている方が刃物で切りつけられ、19 人が亡くなり、26 人が重軽傷を負うというたいへん痛ましい事件が発生しました。

亡くなられた方とご遺族、関係者の方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、負傷された方の一刻も早い回復と、その場に居合わせた方々が一日も早く以前の暮らしに戻り心の傷を癒せるよう願ってやみません。

事件の容疑者は同施設の前職員ということが明らかとなり、障がいのある人の存在や人格を否定する供述をしているとの報道がなされていますが、罪もなく抵抗もできない多くの人たちの命を奪った卑劣で残忍極まる事件に強い憤りを禁じ得ません。

障がいのある方のご家族はもちろん、日ごろより障がいのある方の福祉の向上を目指し、命の尊さや人権尊重を第一義に懸命に支援に取り組んでいる施設職員、福祉関係者の方々は、二重にも三重にも驚き、胸が切り裂かれる思いを持ったことでしょう。

事件の詳細は今後の捜査によって明らかにされるものと思われませんが、障がいの有り無しで命を選別することは、絶対にあってはなりません。どんなに重い障がいのある方も同じ地域の一員です。この世に生を授かった誰しもが楽しく幸せな生活を求め、共に支えあう社会の実現を心より願っています。

私たち福祉施設は社会から遠ざかることなく、近隣住民の皆様のご協力を頂きながら、障がいのある方の支援にあたっています。障がいのある方だけでなく、地域住民の皆様をはじめとするすべての国民の皆様の安心・安全のためにも、ぜひとも障がいのある方への支援に高い志を持つ方に福祉現場で働いて頂きたいと願うとともに、私たち自身もより良い人材の確保と育成に向けた取り組みを続けていかななくてはなりません。

あらためてこのたびの事件でお亡くなりになられた方の尊い命に哀悼の誠を捧げますとともに、障がい福祉サービスを利用されている方の不安が増幅されることのないよう、私たち福祉施設も日々の取り組みに万全を期し、広く国民の皆様への障がい福祉の理解の促進に努めていきたいと考えております。

最後に、今後二度とこのような凄惨で悲しい事件を繰り返さぬよう、国民の皆様の障がいのある方へのご理解と、障がい福祉へのご協力を切にお願い申し上げます。

平成 28 年 7 月 29 日

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
会 長 橘 文 也
副 会 長 菊 地 達 美
副 会 長 榊 原 典 俊
副 会 長 井 上 博